

国際交流学習のための ワークショップ型研修の開発



石川県教育センター 清水 和久
 東北学院大学 稲垣 忠
 ジャパンアートマイル 塩飽 隆子
 関西団学大学院 岸 磨貴子

発表内容

- はじめに ワークショップの背景
- 問題の所在 カリキュラムの立て方
- 研究の方法 2回のワークショップ
- 結果 ステップに沿って考えると良い
- 課題

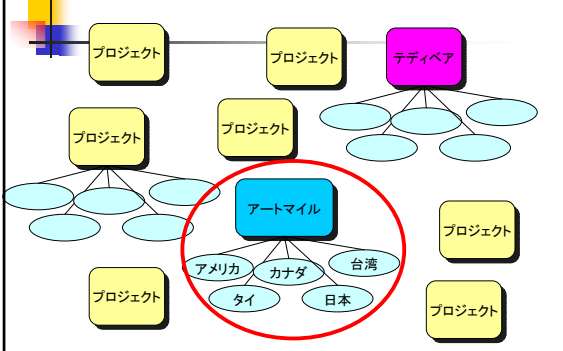
どこで何のためにワークショップ を行ったか？

iEARN世界会議
 International education
 and resource network
 エジプト ムバラクシティ
 2007 (7/20-7/26)
 対象 各国の教師
 2回実施

場所は？ エジプト ムバラクシティ



iEARNの国際交流プロジェクト



Japan Art Mile
 お知らせ！
 F M ココロ 番組でアートマイルを紹介
 You Tube 動画で見る世界の動き
 海外交流 プロジェクト
 海外交流→共同制作
 おおがいに！
 アートマイル活動に支援を！
 「アートマイルエンジェル」

アートマイルプロジェクトとは？

- iEARN (international education and resource network) のプロジェクトの1つ
- 2010年に描いた壁画でエジプトのピラミッドの囲もう
- 互いの文化や自分の文化を深く知るために、2国間で共同で1枚の壁画を描く活動 (共同制作) をおこなう

2010年の予行練習？



昨年度の関大での掲示



問題の所在

- 国際交流には英語とICTの活用が必要
- 国際交流の課題山積
- アートマイルをツールとして交流を仕組みたい
- モデルカリキュラムを基に参加教師にカリキュラムを考えてもらいたい

研究の方法

①対象

- 2回のワークショップ
- 外国の教師11名(前半6名、後半5名)



2研究の方法

②方法

- <準備物>
- 模造紙(スケジュール台紙)
- 学習活動カード
- 概要説明のプレゼン
- ステップシート
- 壁画のサンプル
- 質問紙

2. 研究の方法

③評価

- 質問紙調査法
- ビデオによる活動記録
- 制作物の評価

アンケート項目

B 1	I understood what the means of global collabotative learning in this project are (協働学習の意味理解)
B 2	I got image of the flow of learning through this project (学習の流れの理解)
B 3	I understood what the outcomes of learning through this project (学習の成果物)
B 4	I undersood a teacher's role of in this class in this project (教師の役割の理解)
B 5	I would like to try JAM Global Collaboration Project using Art and ICT(参加意思)

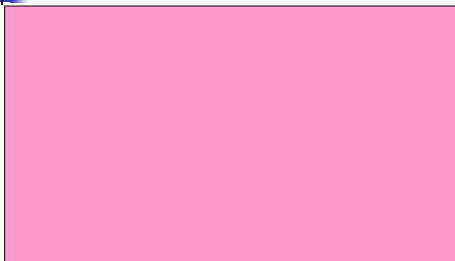
3結果

- ワークショップの実施手順
1. アートマイル参加生徒によるプレゼン
 2. アートマイルの説明プレゼン
 3. カリキュラムの作成(学習活動カード)

学習活動カード(要素)

おおまかな活動 自体の流れ 6枚	個別の活動事 例 8枚	コミュニケーション 活動 7枚
Drawing	Activity	Communication

Drawing Card



Activity Card

- A1相手の国について調べる
- A2自文化について調べる
- A3自己紹介ビデオを作る
- A4自分の文化や暮らしを伝えるビデオを作る
- A5ニューイヤーカードの交換
- A6絵のメッセージを考える
- A7調べたことを絵の内容に生かす
- A8活動全体のふり返し

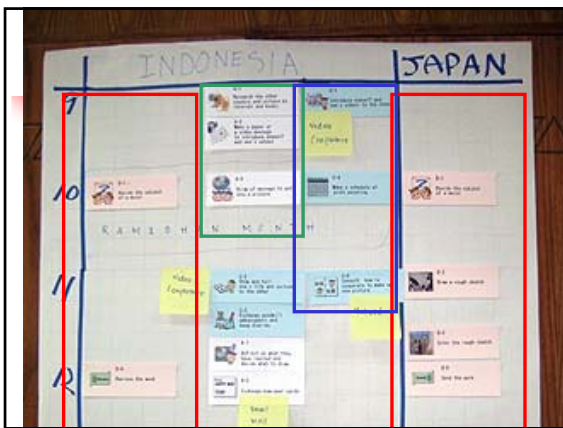
Communication card

- C1自己紹介・学校紹介をする
- C2自分の文化や暮らしを伝え合う
- C3親善大使(人形)を交換して様子を伝え合う
- C4共同制作の日程を相談する
- C5共同で何を描くか相談する
- C6共同制作の分担を相談する
- C7作品の感想交流

ワークショップの様子



- 6人3グループ
- インドネシア2人
- パレスチナ2人
- エジプト2人



1回目のアンケート結果

	country	職業	性	B1	B2	B3	B4	B5
一回目	インドネシア	高校	女	4	4	4	4	4
	パレスティナ	学校	女	3	4	3	3	3
	パレスティナ	学校	女	4	4	4	3	4
	オランダ	指導主事	女	4	4	4	3	3
	エジプト	小学校	男	3	3	3	3	4
	エジプト	小学校	男	4	3	4	4	4
	一回目平均			3.7	3.7	3.7	3.3	3.7

B1	I understood what the means of global collaborative learning in this project are
B2	I got image of the flow of learning through this project
B3	I understood what the outcomes of learning through this project
B4	I understood a teacher's role of in this class in this project
B5	I would like to try JAM Global Collaboration Project using Art and ICT

反省点

- 学習活動カードの要素を出しただけでは、うまくカリキュラムを組み合わせられない。
- カードが多すぎる
- ゴールの成果物のイメージがもてない

ステップに沿ってワークショップの進行を考える必要性あり

第2回ワークショップ

- 3グループ
- エジプト2人
- イスラエル2人
- カナダ1人

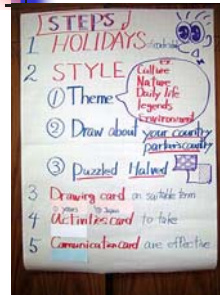


改善点

■ 2回目 ステップシート

1. 長期休暇の日程の確認
2. 壁画のテーマ、形式を決める
3. 制作活動の時期を決める
4. 必要な調査活動を位置づける
5. 利用可能な交流手段を選ぶ

ステップシート



1. 休暇期間
2. スタイル
 - ① テーマ
 - ② どちらの国を描くか
 - ③ 市松模様が半分か
3. 流れのカード
4. 活動カード
5. 交流カード

2回目のワークショップの様子



2回目のアンケート結果

エジプト	指導主事	男	4	4	4	4	4
イスラエル	高校	女	4	4	4	4	4
イスラエル	高校	女	4	4	4	4	4
カナダ	指導主事	男	4	4	4	4	4
二回目平均			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

B1	I understood what the means of global collaborative learning in this project are
B2	I got image of the flow of learning through this project
B3	I understood what the outcomes of learning through this project
B4	I understood a teacher's role of in this class in this project
B5	I would like to try JAM Global Collaboration Project using Art and ICT

	country	職業	性	B1	B2	B3	B4	B5
一回目	インドネシア	高校	女	4	4	4	4	4
	パレスティナ	学校	女	3	4	3	3	3
	パレスティナ	学校	女	4	4	4	3	4
	オランダ	指導主事	女	4	4	4	3	3
	エジプト	小学校	男	3	3	3	3	4
エジプト	小学校	男	4	3	4	4	4	
一回目平均				3.7	3.7	3.7	3.3	3.7
二回目	エジプト	指導主事	男	4	4	4	4	4
	イスラエル	高校	女	4	4	4	4	4
	イスラエル	高校	女	4	4	4	4	4
	カナダ	指導主事	男	4	4	4	4	4
二回目平均				4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

B1	I understood what the means of global collaborative learning in this project are
B2	I got image of the flow of learning through this project
B3	I understood what the outcomes of learning through this project
B4	I understood a teacher's role of in this class in this project
B5	I would like to try JAM Global Collaboration Project using Art and ICT





まとめ

- 時期の調整から始める
- 制作物のイメージ化後に流れを検討する
- 制作活動に合わせて学習、コミュニケーション場面を組み合わせる

今後の課題

- 日本人の教師を対象にしたワークショップとの比較
- ネット上でのスケジュールの決め方の方法
- カードの数の厳選

おわります

The four photographs show: 1) A modern building with a glass facade. 2) A meeting room with a round table and chairs. 3) Three people (two men and one woman) looking at a display on a table. 4) A group of five people (three men and two women) standing together and smiling.